

Annual Report

第2期

2017 - 2018

特定非営利活動法人サードプレイス



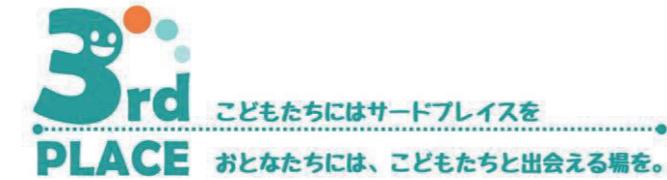
CONTENTS

- 1 ミッション・代表挨拶・事業計画
ロゴマーク・つるちゃん
- 2 子どもの居場所づくり事業
- 3 講演・啓発事業
- 4 子どもの体感・体験・学習イベント
- 5 鶴見区の子ども資源調査事業
- 6 Web/facebook・助成金・補助金
賛助会員募集・寄付報告・法人概要

◆ミッション

「こどもたちにはサードプレイスを
おとなたには、こどもたちと会える場を」

鶴見区内で子どもたちの支援や子ども向けのイベント・職業体験などを実施しているメンバーが集まり、平成29年2月28日に設立しました。



◆代表挨拶

第2期を振り返って

初めて1事業年度の取り組みを実施することができました。第1期は、わずか4ヶ月間だったこともあり、「種まき」として取り組みを仕掛ける期間でした。第1期で撒いた種が、第2期では芽吹き、事業によっては大きく成長したものもあります。

大きなトピックとしては、独立行政法人福祉医療機構W A M助成（社会福祉振興助成事業）を受けることができ、実践としての子どもたちの居場所づくり「地区センカフェ」が実施できたことです。私たちの考える居場所づくりにチャレンジし、改めて児童館がない横浜市で地区センターという公共施設での子どもたちの居場所の必要性を実感しました。

また、実践を重ねていくことでNPO法人サードプレイスの認知も広がってきました。横浜市鶴見区のローカルNPOを目指していく中で、地域の地縁組織や鶴見区内で活動をする他の団体からお声掛けいただけすることは、本当に嬉しいことです。「子ども」をキーワードに多くのご縁をいただいている。横浜市鶴見区以外にもネットワークを広げることができ、そこで知り合った活動実践者の先駆的な取り組みや知見を鶴見に持ち帰り、地域の方や団体の方たちと共有していくよう意識しています。

子ども達にしっかりと寄り添っているか?と考えたときに、「まだ足りていない」と実感しています。中間支援としても、仕組みやノウハウにとらわれすぎることがないよう、「子どもたち自身が望むもの」がしっかりと感じ取れているか?という問い合わせ自分たちに残し、第2期の振り返りをしたいと思います。

特定非営利活動法人サードプレイス
代表理事 須田洋平

◆ロゴマーク



◆事業計画

①子どもの発達における総合支援事業

- ア 子どもの居場所づくり事業
子ども食堂・学習支援の実施及び活動を行う団体の取り組みを支援
- イ 講演・啓発事業
子どもの居場所、貧困対策、虐待防止、多文化共生等に関する啓発
- ウ 子どもの体感・体験・学習イベント
子どもの職業、自然、文化体験イベントの実施
- エ 指定管理・委託事業の受託
横浜市鶴見区内の放課後キッズクラブなどの運営受託の準備

②地域資源の調査・研究・開発事業

- ア 鶴見区の子ども資源調査事業
横浜市鶴見区内の子ども支援を行っている団体、活動などを調査する
- イ まちかど保健室立ち上げプロジェクト
子どもたちや地域の大人たちが、生活の相談ができる相談室（保健室）のような居場所を設置するための検討・準備

◆つるちゃん

4月から活動に加わった新メンバー
主な担当は、広報です。



◆子どもの居場所づくり事業

◆相談・伴走支援

鶴見区内で子どもたちの居場所づくりなどの取り組みを実施したい団体への伴走支援事業。子供の未来応援基金 未来応援ネットワーク支援金を受け実施しています。

伴走支援団体：3件



鶴見中央4丁目のタイ料理屋さんから「こども食堂」を始めたいというご相談をいただき、1月から『なんちゃん子ども食堂』がスタート。オーナーでタイ出身のなんちゃんと「子どもたちのために何かしたい」「外国につながりのある子どもたちの居場所になるといいな」という思いを共有し一緒に作っています。



4月からは
毎月第3曜日に実施
12:00～14:00
なくなり次第終了

◆子供の未来応援国民運動



この事業は、平成29年度W A M助成（社会福祉振興助成事業）の助成を受けて実施しました。



地区センカフェ

◆子どもたちの居場所づくり実践

地区センカフェ～子どもたちの居場所～

公共施設（地区センター）で子どもたちの居場所づくりの取り組みを実施しました。

1回平均で20人くらいの子どもたちが来てくれます。多い時は、40人。回数を重ねるごとに、子どもたちとスタッフの仲も深まっています。地区センカフェ開催日以外の日に会うと、子どもたちから声をかけてくれます。

独立行政法人福祉医療機構W A M助成（社会福祉振興助成事業）採択事業

開催回数：60回

参加者数：1,413人（子ども1,171人・大人242人）

報告書：事業報告書を発行

https://docs.wixstatic.com/ugd/c1a122_720ea84347b04df6b671700909dd698e.pdf

・トークフォークダンス
平成30年3月18日（日） 参加者：17名

・学習支援（算数教室）

平成30年3月19日～23日 5回実施
参加者：55名 スタッフ・ボランティア：22名



子どもたちの声

▶地区センカフェ

ここに来ると誰かいるから楽しみ！話し相手になってくれるし嬉しい。
毎週火曜日は、地区カフェが待ち合わせ場所。

▶学習支援

わかんないところを、高校生のお姉さんが教えてくれて嬉しかった。
いつもなかなか勉強に集中できないけど、たくさん集中できた。



報告書 URLコード
https://docs.wixstatic.com/ugd/c1a122_720ea84347b04df6b671700909dd698e.pdf



学習支援



トークフォークダンス

◆講演・啓発事業

◆こどもたちの居場所シンポジウム

日 時：平成30年4月20日（金）18:00～20:45
場 所：横浜市鶴見中央コミュニティハウス
参加者数：42名
テー マ：外国につながるこどもたちの居場所

シンポジウムの様子は、
ブログで詳しく報告しています。

つるみ・元気アップ事業補助金を活用し実施しました



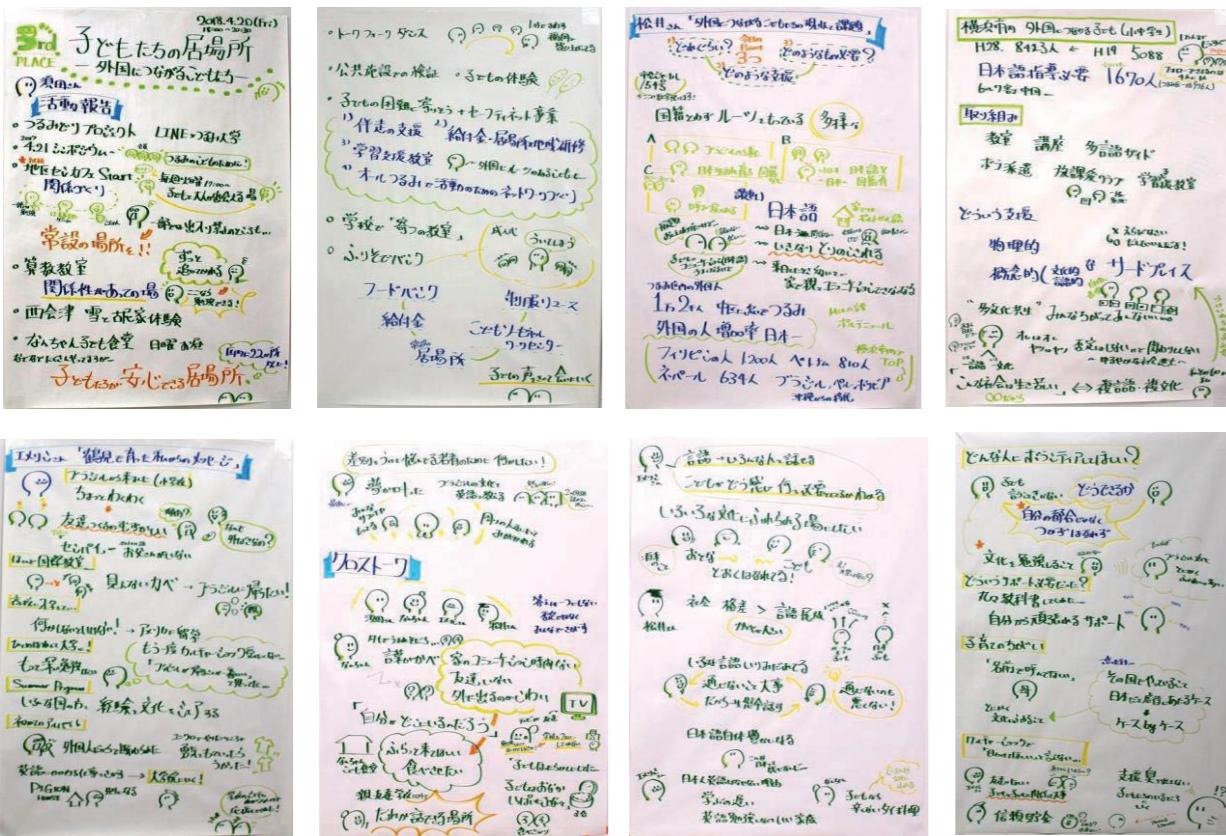
基調講演では、公益財団法人横浜市国際交流協会 鶴見国際交流ラウンジ館長 松井孝浩さんに「外国につながるこどもたちの現状と課題」というタイトルで、盛りだくさんの内容をお話しいただきました。

続いて、昨年のシンポジウムのクロストークに登壇いただき、とても反響が大きくもっと話を伺いたいとリクエストがあったSAPPHY Lerning Centerエメリン ヤマモトさんから「鶴見で育った私からのメッセージ」と題して想いを語っていただきました。

そして最後に、クロス×トーク。

鶴見区内で外国につながりのある子どもたちをサポートしている大人として

- ・鶴見国際交流ラウンジ館長 松井孝浩さん
 - ・SAPPHY Lerning Center エメリン ヤマモトさん
 - ・なんちゃん子ども食堂 タイ料理パサタイ ナンズキッチン ナッタヤ サムランさん
- にご登壇いただきトークライブ形式でお話しいただきました。



シンポジウムにご参加いただいた方からのコメント

- ・いろんな視点で話が聞けて良かった。いろんな人が地域で子どもを支えようとしていることに感心した。
- ・生い立ち、体験談、サポートする側の観点について話が聞けて勉強になった。
- ・概念的なサードプレイスをもっと深掘りしたい
- ・多文化・多言語⇒複文化・複言語という説明が印象に残った
- ・言葉が通じなくても居心地のいい場所は、日本人の子にとっても外国につながる子にとってもいいというフレーズが心に響きました。
- ・横浜市は、他市に比べて恵まれている。



◆社会貢献教育の推進

「寄付の教室©」の実施および協力
実施回数：3回
実施校：神奈川大学・あすのばレベルアップ研修・
横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校・
社会貢献教育ファシリテーター研修 事務局協力



◆講演会・研修会等への登壇

▶テーマ

子どもたちの居場所づくり、子どもの貧困対策の支援の現場から、多文化共生のまちづくり、鶴見区内での活動事例紹介、ファンドレイジング実践など

▶講演・協力先

関東学院大学、法政大学大学院、横浜市立鶴見小学校、
公益財団法人あすのば、横浜市西区第4地区社会福祉協議会、
社会福祉法人座間市社会福祉協議会、日本ファンドレイジング
協会福祉チャプター、一般社団法人日本地域福祉ファン
ドレイジングネットワークCOMMNET 他



◆Blue town横浜の協働実施

日 時：平成30年4月2日（月）10:00～15:30
場 所：ココファン横浜鶴見 交流スペース
参加者数：575名
内 容：毎年4月2日は国連が定めた
「世界自閉症啓発デー」の啓発イベント



自閉症の理解を目的に、世界中でさまざまな取り組みがおこなわれる日。横浜のイメージカラーの青と重ねてドレスコードを青とし、イベント・ワークショップ・シンポジウム等を実施しました。さまざまな背景のある人が集う「居場所」のようなイベントを実施することができました。

◆子どもの体感・体験・学習イベント

◆鶴見そーらんフェスティバル（協力）

平成29年11月11日（土）
第9回 鶴見そーらんフェスティバル
主催：鶴見そーらんフェスティバル実行委員会



実行委員会の一員として、企画運営に協力しました。
今年も、子どもたちの素晴らしいパフォーマンスが発揮され、大いに盛り上りました。
過去最多15チームのエントリー。参加の生徒児童は約500名、観客・ボランティアを含めると約2200名が集まるイベントとなりました。

◆古民家に泊まる雪国自然文化体験ツアーin福島県西会津町

平成30年2月10日（土）～11日（日）1泊2日

子どもの参加：8名・引率スタッフ：8名
※当日の欠席もあり子どもと大人が同じ人数での実施
西会津町へは、バスで片道約5時間半。
移動は疲れますが、現地に着くまでの道のりで
どんどん雪景色が広がっていく様子が見れるので
楽しみな気持ちが高まっていきます。

「雪があれば何も要らない！」
子どもの体験として、この一言につきると感じました。

体験ツアーの様子は、
ブログで詳しく報告しています。




この事業は、子どもゆめ基金の助成を受けて実施しました。

◆鶴見区の子ども資源調査事業

◆つるみ子育て個育ちフォーラム（協力）

運営委員・企画委員として
フォーラムに協力しています。

平成29年11月26日（日）の「第17回 つるみ子育て個育ちフォーラム」では
裏方として、イベントの運営に協力しました。



◆つるみどりプロジェクト（協力）

鶴見大学の地域貢献ボランティアサークルのメンバーが運営する
「つるみどりプロジェクト」寄付金つきボールペン企画にアドバイザー
として協力しています。

つるみどりプロジェクト寄付金つきボールペン企画は、鶴見区内で
子どもたちをサポートする取り組みをおこなっている団体の資金調達
サポートを目的に、オリジナルボールペンを企画販売し、売上の一部
(1本200円で販売、56円が寄付)を寄付する取り組みです。

今年は、学生たちがサードプレイスを寄付先に選んでくれました。



2015 2016 2017



ミーティングの様子



タウンニュースに掲載

◆まちかど保健室立ち上げプロジェクト

▶平成29年度 ヨコハマ市民まち普請事業

warm place & サードプレイスとして
子育てママ支援warm placeと共同企画で
「コミュニティ拠点居場所カフェの整備」を提案
整備物件が確定できず、二次コンテストを辞退。



▶平成30年度 ヨコハマ市民まち普請事業

鶴見中央4丁目にできる新築ビルに「鶴見の多文化・多世代の共創拠点」を作ろうと『つみれプロジェクト実行委員会』が組織されました。

鶴見中央の住民や中央エリアで事業を実施している団体、鶴見銀座商店街で実施されるイベントに関わっているメンバーなどで構成されています。

サードプレイスは、実行委員会の事務局として拠点づくりに参画。

鶴見中央エリアに「こどもたちの居場所になる拠点を作りたい」というのはサードプレイスを立ち上げる時からの夢です。

住民参加のプロセスなどを深め、整備費用（最大500万円）の資金調達を目指します。

プロジェクトの様子は、ホームページで詳しく報告しています。



◆Web/facebook

- ・ホームページ
<https://www.n-thirdplace.com/>



- ・ブログ
<https://www.n-thirdplace.com/blog>



- ・facebook



<https://www.facebook.com/thirdplacetsurumi/>

活動の予定や報告を掲載しています



◆助成金・補助金

▶平成29年（2017年）

- ・平成29年度 独立行政法人福祉医療機構 W A M助成（社会福祉振興助成事業）
- ・平成29年度 子どもゆめ基金 助成金

▶平成30年（2018年）

- ・平成30年度 つるみ・元気アップ事業補助金（2年目）
- ・平成30年度 子供の未来応援基金 第2回未来応援ネットワーク事業

◆賛助会員募集

NPO法人サードプレイスの活動に共感し金銭で応援いただく「賛助会員」を募集しています。

年会費：個人 1口 3,000円（1口以上）

寄付者様が税額控除や所得控除といった税制上の優遇が受けられるよう、認定NPO法人を目指しています。

◆寄付報告

第2期は**504,065円**のご寄付をいただきました。

今期は、子どもたちの居場所づくり実践を中心に寄付金を使わせていただきました。「子どもたちと大人が会える場所づくり」の取り組みを進めていくために、多くのご協力が必要です。引き続きのご支援をお願いいたします。

ご寄附のお申し込みについて



◆法人概要

▶名 称 特定非営利活動法人サードプレイス

▶目 的 この法人は、地域で暮らす子どもたちや大人に対して、子どものサードプレイス（居場所）づくりや「生き抜く力」を身につけるための体感・体験・学習に関する事業を行い、子どもたちの未来が明るくなり、豊かで充実した地域づくりに寄与することを目的とする。

▶事業内容 (1)子どもの発達における総合支援事業
(2)地域資源の調査・研究・開発事業
(3)その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

▶役 員 代表理事：須田洋平 副代表理事：福德未来・石田輝樹 監事：山路清貴

▶法人設立 平成29年2月28日

つるちゃん寄付金つき



LINEスタンプ 販売中！

「つるちゃん」は、つるみどりプロジェクト^(※1)から生まれたキャラクターです。2018年4月からは、NPO法人サードプレイスのメンバーとしても一緒に活動をしてくれています。

こども食堂や学習支援などの子どもたちの居場所づくりを意識して、当時大学生でつるみどりプロジェクトのデザインを担当していたnatsukiさんが個人で作成し、LINEクリエイターズスタンプとしてリリースしました。^(※1)鶴見の子どもたちのために何かしよう！という大学の学生プロジェクト



つるちゃんのスタンプ その1

<https://line.me/S/sticker/3435226>



つるちゃんのスタンプ その2

<https://line.me/S/sticker/3396807>



natsukiさんご厚意で、スタンプの売上はNPO法人サードプレイスの活動にご寄付いただることになりました。

各1セット40種 120円



230-0051

横浜市鶴見区鶴見中央4-2-9

横山ビル4階 9号室

TEL : 080-9535-1594

E-mail:thirdplace.tsurumi@gmail.com

こどもたちにはサードプレイスを.....
おとなたちには、こどもたちと出会える場を。